

ソフトバンク株式会社 から提出された各周波数帯の 実施状況の概要及び確認の結果

平成28年度第2四半期 (平成28年7月～9月)

この資料は、ソフトバンクモバイル株式会社（※1）によるワイモバイル株式会社の吸収合併に伴う認定開設者の地位の承継について、総務省が平成27年3月31日に許可（※2）を行う際に、

○キャリアアグリゲーション技術の導入など今後の利用方策が示された周波数帯域に関して、実施状況を四半期ごとに総務省に報告すること。なお、当該実施状況の確認の結果については、総務省のウェブサイトにて公表する。

と条件を付したことに基づいて、ソフトバンク株式会社から提出された各周波数帯の実施状況の概要をとりまとめ、確認の結果とともに公表するものである。

※1 平成27年7月1日からソフトバンク株式会社に社名変更。

※2 関係報道資料 (http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban14_02000218.html)

<報告概要>

ソフトバンク株式会社は、900MHz帯、1.7GHz帯及び2.1GHz帯においてキャリアアグリゲーションを導入し実施しており、また、3.5GHz帯においても導入に向けた検討、準備を進めているところ。また、3.5GHz帯については、2016年12月にサービス開始を予定している。各周波数帯の実施状況は下記の通り。

1 各周波数帯の実施状況

<700MHz帯>

- ・終了促進措置を実施しているところ。

<900MHz帯>

- ・LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。
- ・キャリアアグリゲーション技術による高速化を継続して進めているところ。

<1.5GHz帯>

- ・世界通信会議（WRC）において、1.5GHz帯のIMT特定がなされたことを踏まえ、2017年4月より、1.5GHz帯においてLTEサービスの提供を順次実施する予定。

<1.7GHz帯>

- ・3.9世代移動通信システムの全帯域への拡張に向けた取組を進めると共に、LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。
- ・キャリアアグリゲーション技術による高速化を継続して進めているところ。
- ・2018年2月以降、1.7GHz帯において15MHz幅を用いたLTEサービスを順次実施する予定。

<2.1GHz帯>

- ・LTE-Advancedを採用し、他帯域とのキャリアアグリゲーションを導入し実施しているところ。
- ・キャリアアグリゲーション技術による高速化を継続して進めているところ。

<2.5GHz帯>

- ・通信量が特に多いエリアを中心に基地局数及び人口カバー率の拡大に取り組んでいる。
- ・2.5GHz帯内でキャリアアグリゲーション技術を導入し実施しているところ。
- ・他帯域とのキャリアアグリゲーションの検討を進めているところ。

<3.5GHz帯>

- ・2016年12月にサービス開始を予定しているところ。
- ・他帯域とのキャリアアグリゲーションの検討を進めているところ。

2 その他

特記事項はない。

<確認結果>

各周波数帯に関する実施状況について、キャリアアグリゲーション技術の導入し実施していること、今後、1.5GHz帯、1.7GHz帯におけるLTEサービスを推進していくこと及び3.5GHz帯において2016年12月にサービスを開始する予定であることについて報告を受けた。引き続き各周波数帯の実施状況を注視することとした。